

はあもにいでは、男女共同参画社会の実現に向けた講座や講演会、イベントを開催しています。令和6年秋から冬に行われた主なものを紹介します。

キャサリン's ノンアルコールBAR～男性のモヤモヤを語り合う座談会～ 和やかな空気の中で、仕事や家庭・生活の悩みを共有



講師のキャサリンさんの気さくな人柄で会場も盛り上がりです



参加者の年齢や属性はさまざま。手取りドリンクで会話が弾みました

熊本市内で「キャサリン's BAR」を経営し、子育てや起業、食育に関する講演会も行うキャサリンさんを講師に招いて、これからの男性の生き方に関する講座「キャサリン's ノンアルコールBAR～男性のモヤモヤを語り合う座談会～」を昨年8月24日(土)に開催。20代～60代の男性10人が参加しました。

前半は、講師からノンアルコールカクテルの作り方を2種類伝授。後半ではテーマに沿ってグループごとに座談会の時間をもちました。「他人の意見を否定しない」などのルールの下、子育てや夫婦関係の悩み、

仕事で抱えているモヤモヤなど本音を吐き出し、お互いの経験や思いを共有する和やかな時間となりました。

また、講師のキャサリンさんによる女性の立場からのアドバイスもあり、参加者からは「アットホームな雰囲気の中で話ができ、とても良い時間でした」「色々な話を聞けてモヤモヤが取れました」といった声が出ていました。また、「なかなか男性なりの悩みや生きづらさを話したりする場や関わりがなかったので、もっと参加したい」など、前向きな感想も寄せられました。

1からわかるCanva基礎講座 初心者でも簡単！ 仕事や趣味に役立つITデザインスキルに挑戦

昨年9月14日(土)と28日(土)の2回にわたり、キャリア・スキルアップに関する講座「1からわかるCanva基礎講座」を開催。16人が参加しました。

Canvaとは、オンライン上でチラシやSNS画像、動画、プレゼンテーション資料などが簡単に作れるグラフィックデザインツール。無料版でも多くのテンプレートや素材があり、初心者でも簡単にデザインが作成できます。

講座では、テンプレートを使ってSNS用の画像作成に挑戦。文字や画像の配置方法、配色の工夫など、

基礎的なスキルを学びました。第2回では応用編として簡単な動画を制作。完成した作品を受講生同士で見せ合う時間も設け、それぞれに工夫されたデザインが発表されました。

受講後には「思っていたより簡単にデザインが作れることに驚いた」「これからチラシ作りに挑戦したい」など、満足感と意欲に満ちた感想が寄せられました。

受講生にとって、今まで難しそうだったITスキルやデザインに挑戦するきっかけとなったようです。



パソコンが苦手な人にも一人一人分かりやすく講師が対応



同じ素材でも、それぞれの個性でオリジナルティーあふれる画像に

はあもにいフェスタ2024

思い込みからの大脱出 違いを楽しもう

男女共同参画を楽しく学ぶ「はあもにいフェスタ2024」(昨年11月9・10日開催)。9日のトークショーでは、ライターの武田砂鉄さんが「この社会の空気を考える」をテーマに講演。10日の講演会では、性教育YouTuberのシオリヌさんが「わたしの大切なからだ」について講演し、親子で学ぶ場となりました。



多様な世代が集い、学び合った2日間

28の市民団体が参加 楽しく学ぶ2日間

「はあもにいフェスタ2024」が11月9日・10日に開催されました。はあもにいと市民団体が協働で実施するこのイベントは、毎年多彩なプログラムを展開。男女共同参画をはじめ社会課題への理解を深める場となっています。今年のテーマは「思い込みからの大脱出 違いを楽しもう」。28の市民団体が出席し、バザーやワークショップを通じて日頃の活動を発表する機会となりました。男女共同参画や同センターに関するクイズ企画には371人(うちオンライン参加76人)が挑戦し、楽しみながら学びました。

社会に対する不条理 問い続けることが大切

9日に行われた武田砂鉄さんのトークショーには162人が参加。メディアや政治の現状について鋭い視点が語られました。武田さんは「ニュースは新しい情報が重視され、過去の出来事が忘れられてしまう」と指摘。政策やスキャンダルが時間とともに風化し、問題が改善されないま



武田砂鉄さんの言葉に、うなずきながらメモを取る参加者の姿も。社会の空気を問い直す時間となりました

まになっている現状に懸念を示しました。

また「怒りを表明することの大切さ」にも触れ、不条理に対して声を上げる必要性を強調しました。ただし、怒りを暴力的にではなく「なぜ？」と問い続ける形で表すことが、社会をより良くする力になると語りました。

命をつなぐ大切な体 性教育が重要

10日に行われたシオリヌさんの講演会には41組83人が参加。「性教育は健康に生きるために欠かせない」との考えの基、幅広い世代が学ぶ機会となりました。特にプライベートゾーン

の考え方を分かりやすく伝え、「他人の体に触れるときは相手の気持ちを確かめること」「嫌なときは『イヤ』と言っていること」の大切さを説明しました。

また、思春期の体の変化についても詳しく解説し、「成長の証として前向きに受け止めることが大切」と伝えました。特に、生理や射精については「命をつなぐ体の仕組み」として正しく理解することが重要であると話しました。



シオリヌさんの講演を聞きながら、親子で語り合う姿があちこちに